

シリンダの排気コントロールシステムの分解およびチェック

6本のボルト(14)をはずし、そして、排気管フランジ(1)をガスケットと共に取り除く。
2本のボルト(2)をはずす。ガイドプレート(3)をシリンダから取り外す。
3つのカラー・ブッシング(4)とコントロールセグメント(12)を取り外す。

排気コントロールのその後の動作不良を防ぐため、カラー・ブッシングおよびコントロールセグメント(12)のベアリング表面を傷つけないよう注意する。

3つのローラー・ガイド(4)をとりはずす。
シリンダ中の穴から2つのコントロール・ローラー(5)および偏心シャフト(6)を引き出す。

(7)のボルトを外し、左右のロックプレート(8)と一緒にそれらをはずす。
コントロールフラップの回転軸の左右のネジ(9)を緩める。
エグゾースト・ポートの中から、コントロール・フラップを少し上に押す。
コントロールフラップのリフティングボルト(11)を1/4回し(リフティングボルトにM5x40ボルトをねじこむと作業しやすい)、シリンダからそれを上方へ取り出す。
これでコントロール・フラップはシリンダから取りはずすことができる。

排気コントロールのすべてのパーツを清掃し、摩耗や損傷をチェックする。

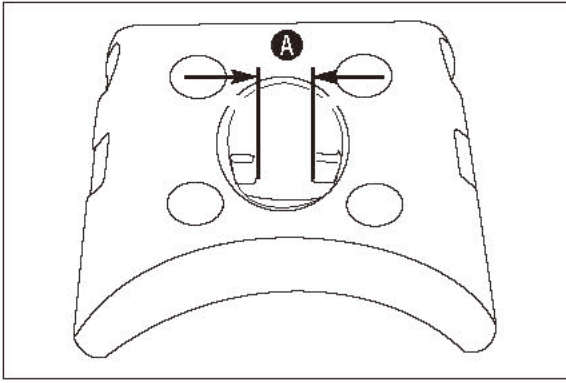
ローラー・ガイド(4)
ローラー・ガイドとコントロール・ローラー・セグメントの間の接触面を点検して、必要ならば交換する。

コントロール・ローラー(5)
ベアリングおよびコントロール・ローラーの歯の摩耗を点検する。

コントロール・フラップ軸(9)
コントロール・フラップ軸の摩耗を点検する(特にピン)。

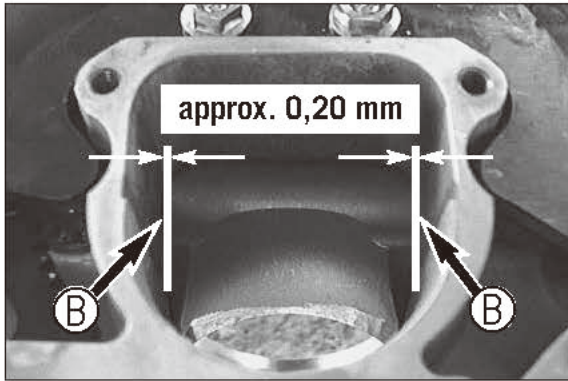
コントロールセグメント(12)
コントロールセグメントとローラー・ガイドの間の接触面をチェックして、必要ならばそれらを交換する。

Oリング
Oリング(13)(9の軸に装着されている) 清掃、チェックして必要ならば交換する。



コントロール・フラップ

コントロール・フラップを清掃して、ピンがガタつきなくフィットするか点検する。2本のピン間で(図参照)距離を測定。コントロールフラップをシリンダにとりつけた時、コントロール・フラップがエグゾースト・ポートと干渉してはならない。
Aの距離: 最小 5.5mm(0.22インチ) 最大 5.8mm(0.23インチ)



シリンダの予備組立

Oリング(13)およびコントロールフラップ軸(9)(特にピン)にグリスを塗布。コントロール・フラップを排気ダクトからシリンダの中へ入れて、コントロール・フラップの両側に隙間ができるように配置する。

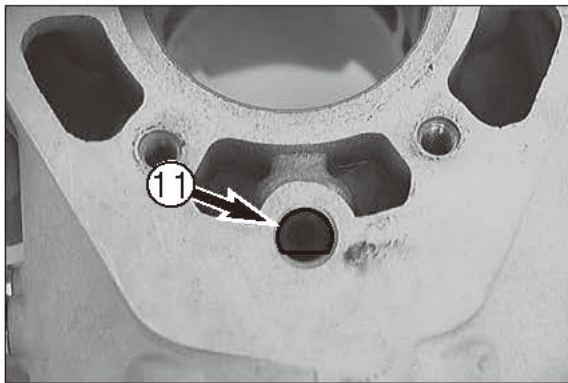
左・右のコントロール・フラップ軸を、締めつけずにとりつける。コントロール・フラップとシリンダ壁の間に同一の厚さ(およそ0.20mm/0.008インチ)の2つのフィーラーゲージを挿入する。この隙間は両側で等しい必要がある。

コントロール・フラップ軸(9)を内側へすべてねじ込む。その後、1/8回転、外へ戻す。

2本のボルト(9)にロックタイト243を塗布し、2つのロッキングプレート(8)を固定するためにそれらを使用する。この際にコントロール・フラップ軸の回転を最小限に抑えるように注意すること。

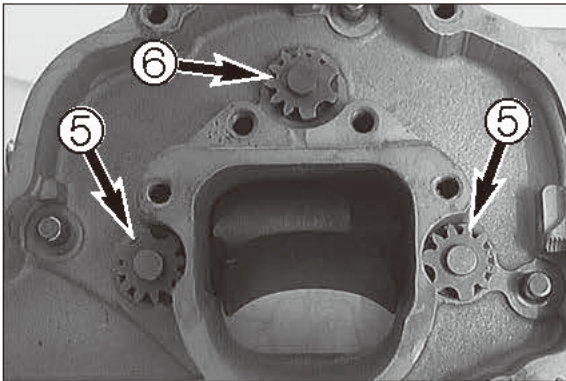
2つのフィーラーゲージをはずして、コントロール・フラップが軽く動くかをチェックする。取り付け時、コントロール・フラップが排気ダクトに触れてはいけない。

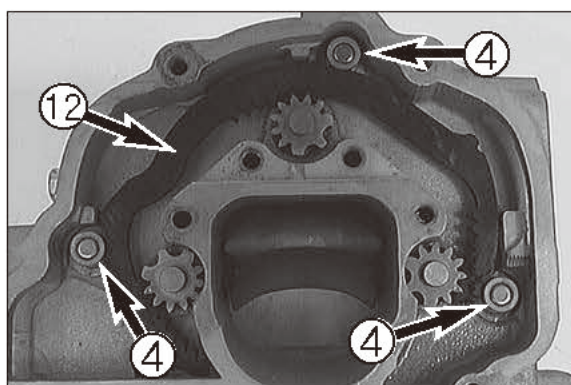
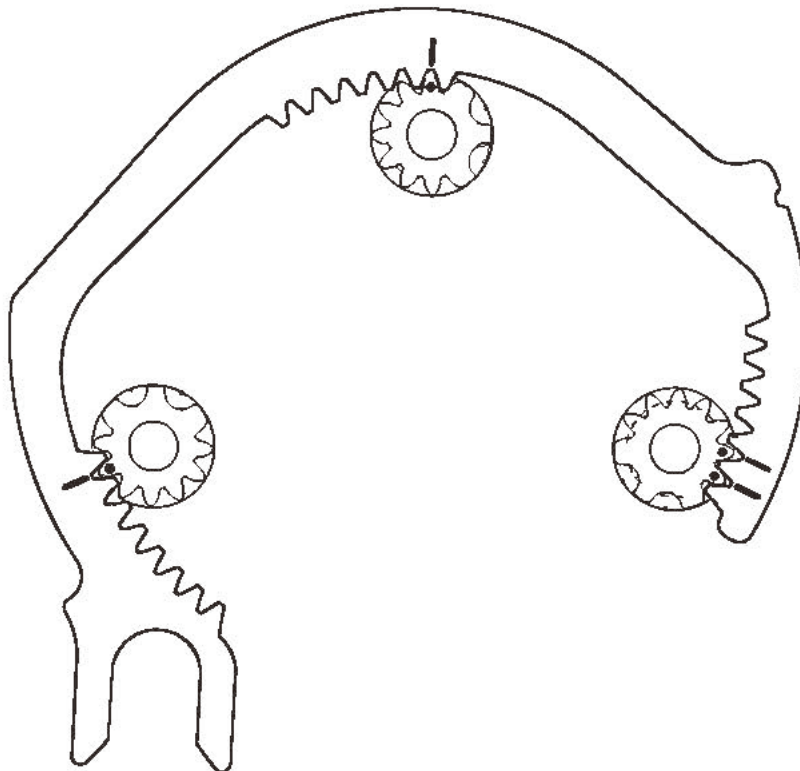
リフティングボルト(11)に十分な油を差し、シリンダの穴に上から挿入する。コントロール・フラップの中に入るまで、リフティングボルトを挿入する。その後、4分の1回転させる。ボルトの水平面が、差し込んだ際と垂直になり。前を向くように(エグゾースト・ポートの方向を向くように)回転させる。



コントロール・ローラー(5)に十分な油を差し、シリンダ穴に挿入する。ポンチマークが1つついたコントロールローラーを左側に、ポンチマークが2つついたコントロールローラーを右側に挿入する。

コントロール・フラップの偏心シャフト(6)に十分な油を差し、シリンダに取り付ける。コントロール・フラップを上下に動かすと、偏心シャフト(6)がコントロール・フラップとともに動作するはずだ。



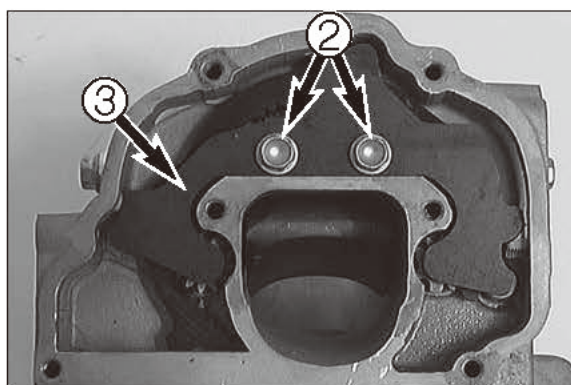


シリンダ中のピンにグリースを塗り、3つのローラー・ガイド(4)を取り付ける。そこに、大きな面がシリンダー側になる向きで、カラーを取り付ける。

コントロール・ローラーについてのマークが外(制御セグメントに面して)を向くように、コントロール・ローラーおよびコントロール・フラップを調節するローラーを回転させる。

コントロール・ローラーについてのマークがコントロールセグメントのものと同じように(図を参照)、コントロールセグメントを取り付ける。

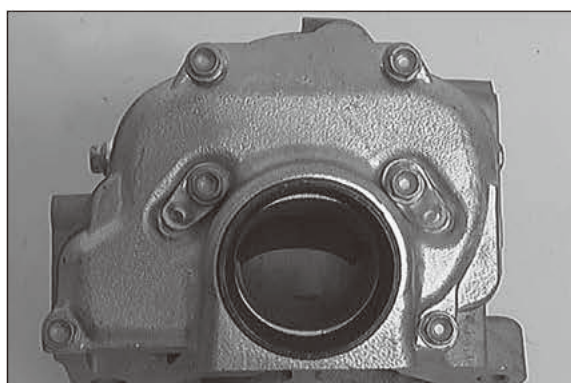
注:
マークがすべて揃った場合、コントロール・フラップは一番下の位置にあり、また、コントロール・ローラーの穴は完全に閉じられるはずだ。



3つのローラー・ガイド(4)に、小さな面がシリンダー側になる向きで、カラーを取り付ける。

ガイドプレート(3)を取り付ける。
ロックタイト243を塗布した2本のボルト(2)で、シリンダーにガイドプレートを固定する。

コントロールセグメントを右回りに回転させてみる。この際コントロール・フラップは開き、また、コントロール・ローラーの穴が開かれるはずだ。



新しいガスケットを取り付ける。
6本のボルトでカバーを取り付ける。この際に、チャンバー取付スプリングの2つのブラケットを共締めすることを忘れないように。

最後に、排気コントロールシステムが軽くスムーズに動作するかを確認する。